

# スマートフォン iPhone基本編



## iPhoneの基礎・ アクセシビリティ設定に ついて知ろう

令和7年4月

# 目次

## 1. iPhoneの各部名称と電源操作

1-A	本体各部の名称【ホームボタンのある機種】	P2
1-B	本体各部の名称【ホームボタンのない機種】	P3
1-C	本体各部の名称【全機種共通】	P4
1-D	電源の入れ方【ホームボタンのある機種】	P5
1-E	電源の入れ方【ホームボタンのない機種】	P8
1-F	電源の切り方【ホームボタンのある機種】	P11
1-G	電源の切り方【ホームボタンのない機種】	P13
1-H	ホーム画面に戻るには【ホームボタンのある機種】	P15
1-I	ホーム画面に戻るには【ホームボタンのない機種】	P16

## 2. アクセシビリティ設定

2-A	文字のサイズと太さの調整	P18
2-B	画面の色を反転	P27
2-C	画面の拡大(ズーム機能)	P32
2-D	画面の明るさを調整	P35

# 1 iPhoneの各部名称と 電源操作

アイフォンの主要なボタンやスイッチの位置と名称に関する  
ご説明です。

# 1-A

## 本体各部の名称【ホームボタンのある機種】



### ①ホームボタン/Touch (タッチ)ID センサー

iPhoneのロックを解除したり、アプリ使用中にホーム画面に戻る時などに使用します。このボタンを長押しするとSiriを呼び出すことができます。また設定を行うと、3回連続で押すことで、VoiceOverや反転表示など、アクセシビリティ機能のオンとオフを切り替える設定をすることもできます。

### ②電源ボタン

iPhoneのスリープを解除したり、スリープモードにする時に利用します。また、電源を入れたり、切ったりする際にも使用します。

### ③着信/サイレントスイッチ

スイッチを背面側にスライドすると消音モードになります。

### ④音量ボタン

上のボタンを押すと音量が上がります。

下のボタンを押すと音量が下がります。

### 【スリープモード】

スリープモードにすると、画面が消えて、意図しないタッチ操作や余計なバッテリーの消費を抑えられます。数分操作しなければ、自動的にスリープモードに移ります。スリープモードの状態でもう一度電源ボタンを軽く押すと、スリープモードが解除できます。



### ①電源ボタン

iPhoneのスリープモードを解除したり、スリープ状態にする時に利用します。このボタンを長押しするとSiriを呼び出すことができます。また、音量を上げる/下げるボタンのいずれかと同時に押すことで電源を切る際にも使用します。設定を行うと、3回連続で押すことで、VoiceOverや反転表示など、アクセシビリティ機能をオンオフする設定も可能です

### ②着信/サイレントスイッチ

スイッチを背面側にスライドするとサイレントモードになります

### ③音量ボタン

上のボタンで音量を上げます。下のボタンで音量を下げます

メインカメラ

受話口

**①メインカメラ**

指で触れると出っ張った円形の突起です。テレビ電話や写真の撮影、視覚障害者向けの画像認識アプリを利用する際に使用します。

**②Lightning(ライトニング)コネクタ**

充電ケーブルや専用のイヤホンを接続する場所です。

**③スピーカーとマイク**

マイクは電話の送話口として使用されますので、指や手で塞がないようにしましょう。

**④受話口(イヤースピーカー)**

指先で触れると横に細長い隙間のように なっています。通話の際はここから相手の声が聞こえます。

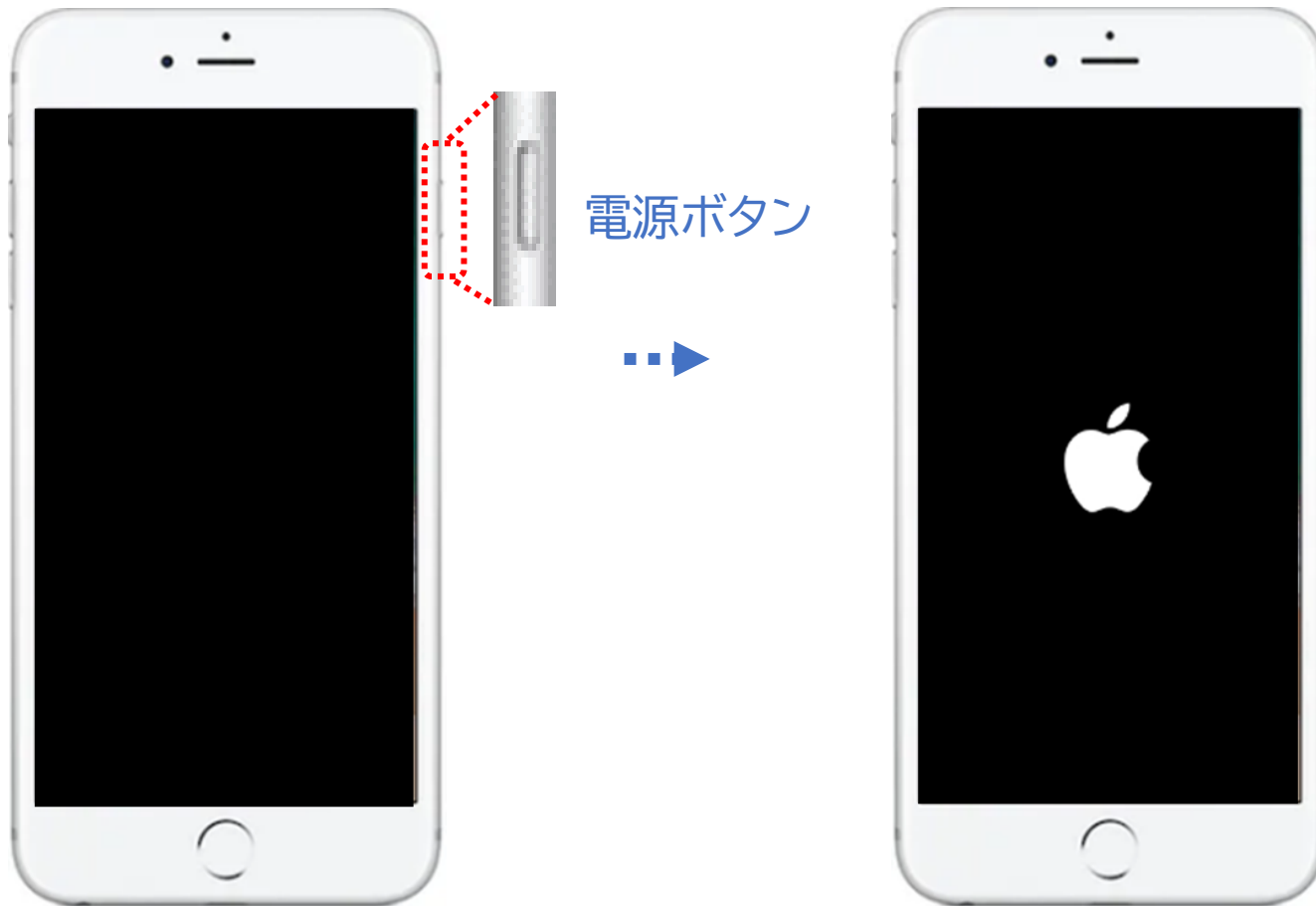
Lightningコネクタ

スピーカーとマイク

電源の入れ方は機種により異なります

① 電源ボタンを長押しします

② リンゴのマークが表示されます



電源の入れ方は機種により異なります

③ パスコードを入力します



※パスコードを設定しない場合はホームボタンを押すことでホーム画面に移動します  
ただしセキュリティの面からおすすめしません



電源の入れ方は機種により異なります

④ ホーム画面が表示されます

VoiceOverを使用している場合は、ホーム画面左上のアイコン名を読み上げます

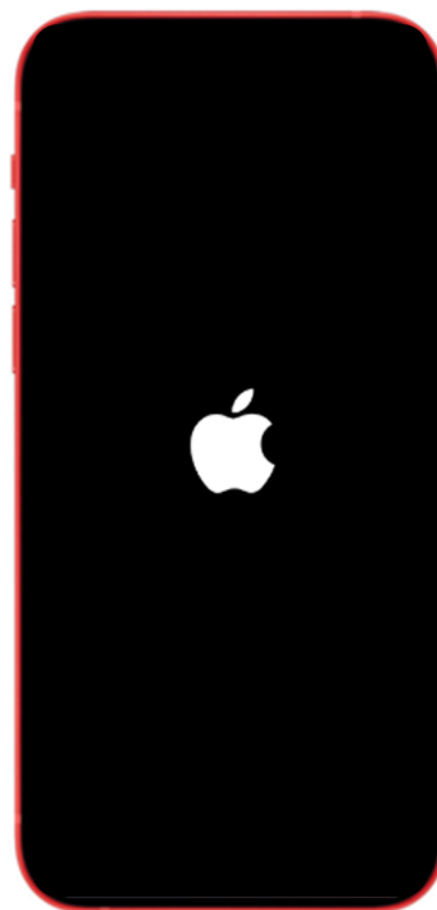
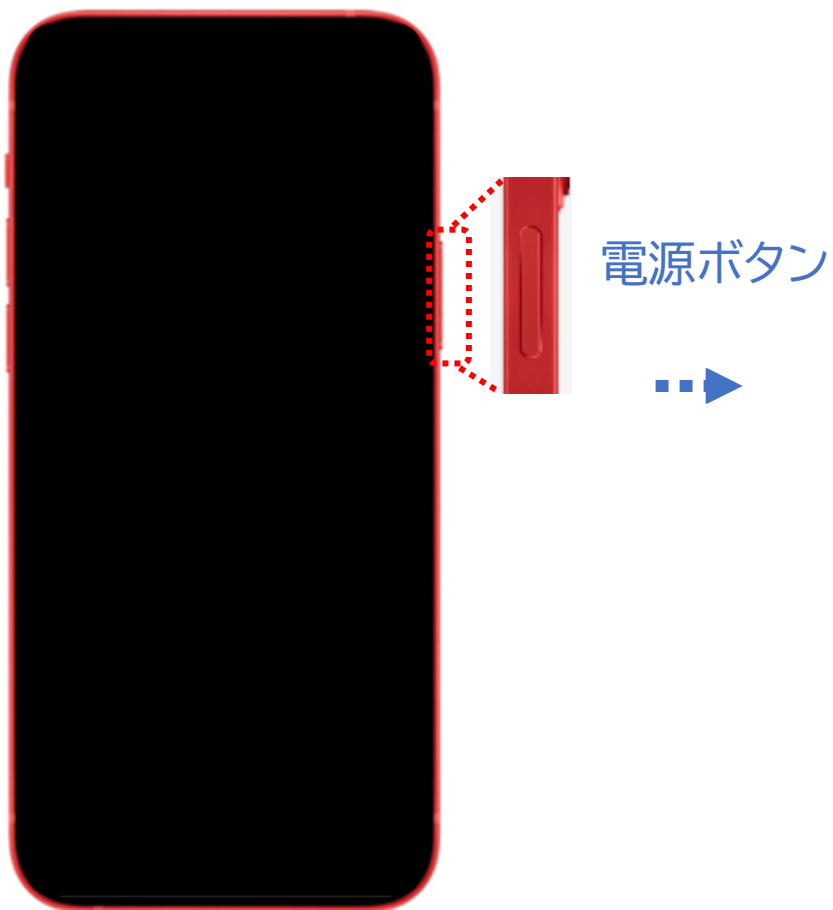


※電源を入れ直した場合やiPhoneの更新による再起動後は、タッチID(指紋認証)を登録していてもパスコードの入力が必要です

電源の入れ方は機種により異なります

① 電源ボタンを長押しします

② リンゴのマークが表示されます



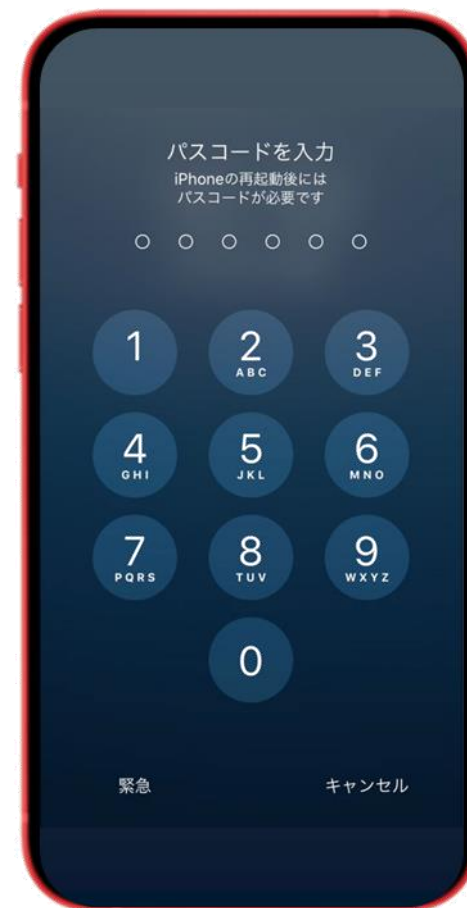
※VoiceOverを使用している場合には、電源が入った段階でポコッと合図音が聞こえます

電源の入れ方は機種により異なります

- ③ 一番下に表示されている線を  
下から上にスライドします



- ④ パスコードを入力します



電源の入れ方は機種により異なります

⑤ ホーム画面が表示されます

VoiceOverを使用している場合は、ホーム画面左上のアイコン名を読み上げます



※電源を入れ直した場合やiPhoneの更新による再起動後は、フェイスID(顔認証)を登録していてもパスコードの入力が必要です

※購入直後はパスコードやフェイスIDが無効に設定されている場合があります。このときは、電源を入れると、ホーム画面に移行します

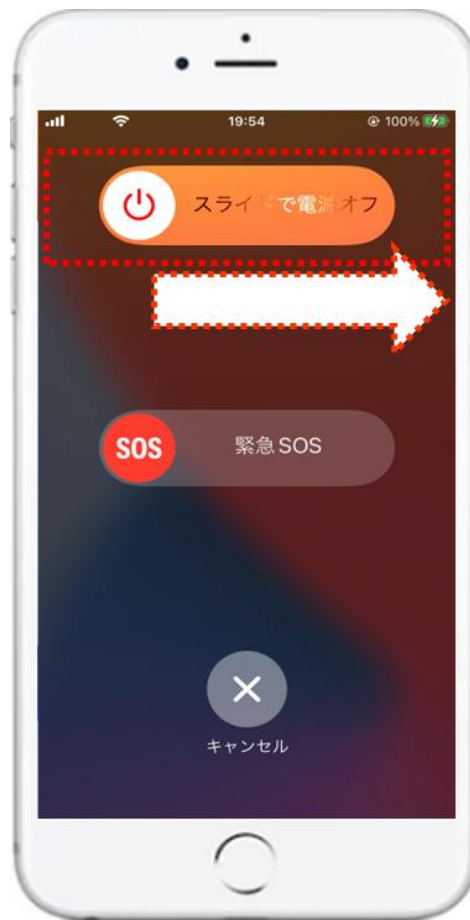
電源の入れ方は機種により異なります

- 1 電源ボタンを長押しします



電源の入れ方は機種により異なります

- ② VoiceOverを使用していない場合は、画面上の「スライドで電源オフ」と書かれた箇所を左から右にスライドすると電源が切れます



※VoiceOverを使用している場合、「スライドで電源オフ」と聞こえたら、画面中央をダブルタップします

※VoiceOverの読み上げ位置がずれている場合がありますので、その場合はタッチ操作か左右のスワイプ操作で「スライドで電源オフ」に合わせてからダブルタップしてください

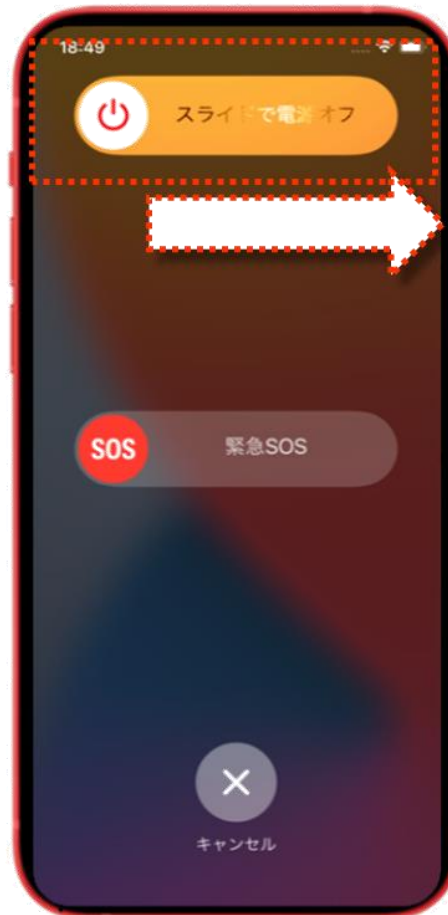
電源の入れ方は機種により異なります

- 1 本体右側面の上の方にある電源ボタンと、左側面にある音量ボタンの上下いずれかのボタンを同時に長押しします



電源の入れ方は機種により異なります

- ② VoiceOverを使用していない場合は、画面上の「スライドで電源オフ」と書かれた箇所を左から右にスライドすると電源が切れます



※VoiceOverを使用している場合、「スライドで電源オフ」と聞こえたら画面中央をダブルタップします

※VoiceOverの読み上げ位置がずれている場合がありますので、その場合はタッチ操作か左右のスイープ操作で「スライドで電源オフ」に合わせてからダブルタップしてください



ホームボタンを押す

➡ホーム画面に戻ります  
(戻ると効果音が鳴ります)  
ホーム画面が何ページもある場合は、  
最後に開いていたページに戻ります。

ホーム画面が表示された状態  
でホームボタンを押す

➡必ず1ページ目のホーム画面に戻ります。  
(効果音が鳴ったあと、音声で「ホーム」とガイド  
があります)

※なお、ホームボタンを連続で押す場合は、1秒程度の間隔を開けましょう

2回以上素早くホームボタンを押すと、後で説明する「開いているアプリを一覧で見ることができる状態(アプリスイッチャー)」や「ショートカット」の機能が立ち上がる場合があります。その場合は再度ホームボタンを押すと、もとのホーム画面に戻ります。

画面のいちばん下、本体の下  
の縁から画面中央に向かって  
1本指でスライドしていく

➡中心に近づくにしたがって音程が上がりながら「ポン ポン ポン」と最大3回の効果音が鳴ります。このうち「ポン ポン」と2回鳴ったところで画面から指を離すと、効果音が鳴りホーム画面に戻ります。ホーム画面が何ページもある場合は、最後に開いていたページに戻ります。

ホーム画面が表示された状態  
で上記と同じ動作をする

➡必ず1ページ目のホーム画面に戻ります。  
(この 時は効果音が鳴ったあと、音声で  
「ホーム」とガイドがあります)

※「ポン ポン」という音が鳴らず、うまくいかなかった場合は、ホーム画面にあるアプリの名前などを読み上げますが、画面に1本指で触れている限りは、勝手に何かが実行されることはありません

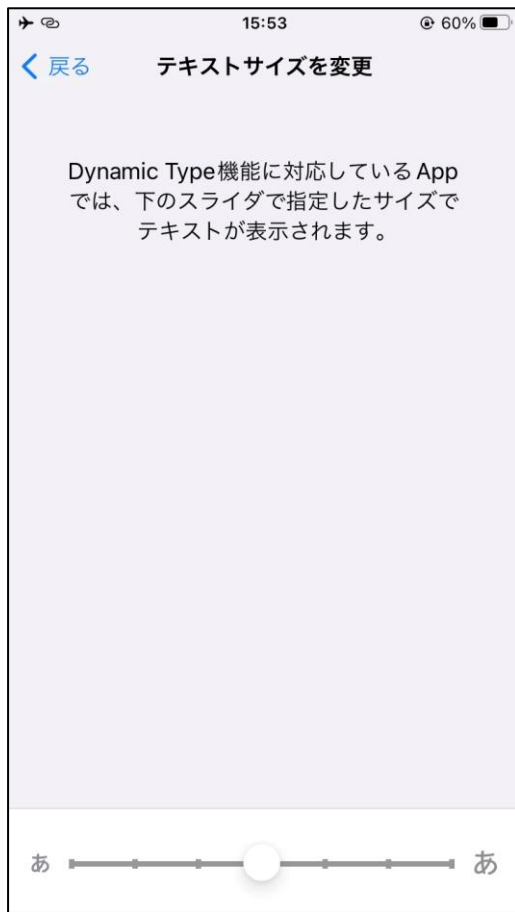
あわてず、画面から指を離し、再度やってみましょう

2

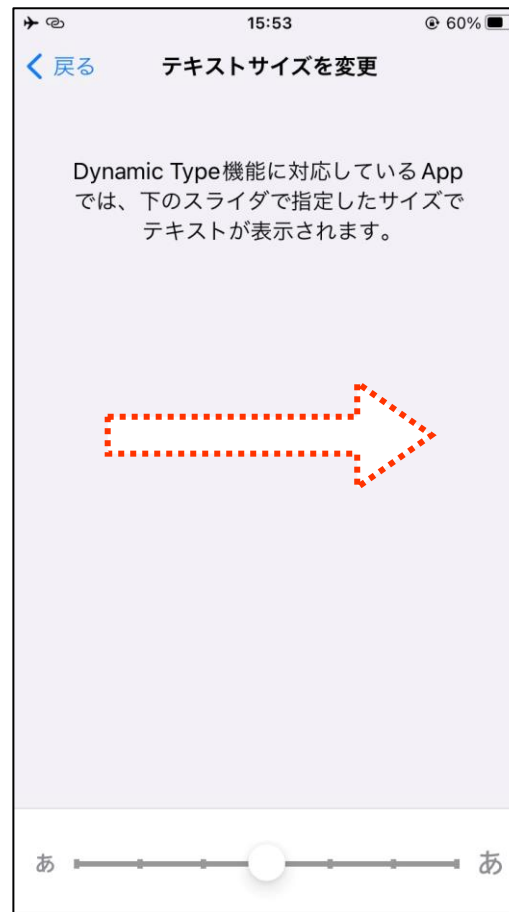
アクセシビリティ設定

## 文字のサイズと太さの調整方法です

- 1 Siriを起動して「文字サイズの変更」と声をかけます



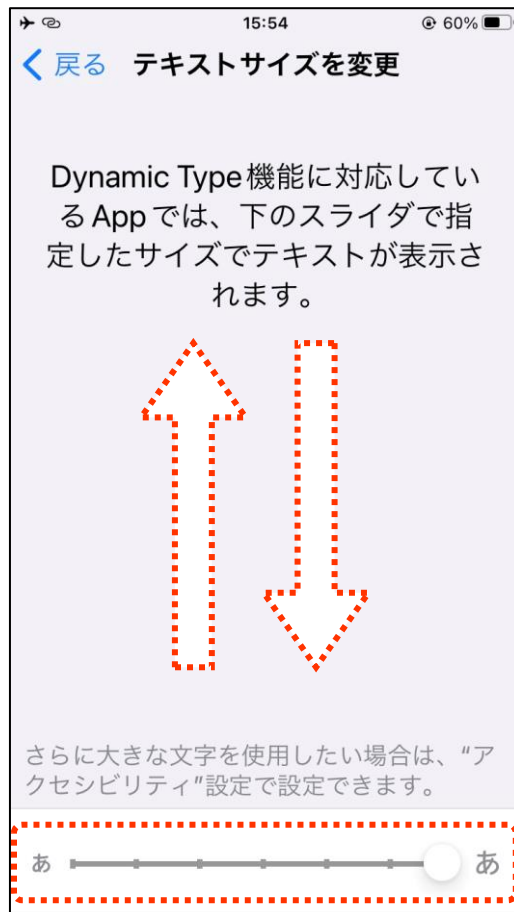
- 2 「〇〇%調整可能」と聞こえるまで右スワイプします



※設定アプリ内  
「テキストサイズ  
を変更」を呼び  
出します

文字のサイズと太さの調整方法です

- ③ 上または下にスワイプして  
見やすい文字サイズに調整します



さらに文字を太く、大きくする場合の操作方法です ※一部のアプリではこの設定が反映されません

① 設定アプリを開きます

② 「アクセシビリティ」と読み上げるまで右スワイプします



※Siriを起動して「設定アプリを開いて」と声をかけても構いません



さらに文字を太く、大きくする場合の操作方法です

③ 「アクセシビリティ」をダブル  
タップします



④ 「画面表示とテキストサイズ」と読み  
上げるまで右スワイプします



さらに文字を太く、大きくする場合の操作方法です

- ⑤ 「画面表示とテキストサイズ」をダブルタップします





さらに文字を太く、大きくする場合の操作方法です

⑥ 「文字を太くする」をダブル  
タップし設定をオンにします



※最初に「文字を太くする、  
オフ」と読み上げます  
※すでにオンの状態であれ  
ば変更の必要はないため  
「文字を太くする、オン」の  
後のダブルタップは  
必要ありません

さらに文字を太く、大きくする場合の操作方法です

- 7 「さらに大きな文字」と読み上げるまで右スワイプします

- 8 「さらに大きな文字」をダブルタップします



※「さらに大きな文字、オン」と読み上げた場合は、設定の変更は必要ありません



さらに文字を太く、大きくする場合の操作方法です

⑨ 「さらに大きな文字」をダブルタップし設定をオンにします



⑩ 「〇〇%調整可能」と聞こえるまで右スワイプします



さらに文字を太く、大きくする場合の操作方法です

- 11 上または下にスワイプして  
見やすい文字サイズに調整します



※ この設定変更後は、最初に紹介した方法でも最大の文字サイズまで選ぶことが可能になります

※ 「文字を太くする」の設定は、Siriでも行うことが出来ますが反応が不安定になる場合があります  
また、「さらに大きな文字」の設定は、今のところSiriでは行えません

Siriを使用して、画面の色を反転させる方法です

- 1 Siriを起動して「色を反転をオン」と声をかけます



- 2 ホームボタン(電源ボタン)を1回押してSiriを終了します



※解除の際は、Siriを起動して「色を反転をオフ」と声をかけ、Siriを終了します

Siriを使用せず、画面の色を反転させる方法です

① 設定アプリを開きます

② 「アクセシビリティ」と読み上げるまで右スワイプします



※Siriを起動して  
「設定アプリを開  
いて」と声をかけ  
ても構いません



Siriを使用せず、画面の色を反転させる方法です

③ 「アクセシビリティ」をダブル  
タップします



④ 「画面表示とテキストサイズ」と読み上げるまで右スワイプします



Siriを使用せず、画面の色を反転させる方法です

5 「画面表示とテキストサイズ」  
をダブルタップします



6 「反転(スマート)」をダブル  
タップし設定をオンにします



※同じ手順で  
進み、チェッ  
クを外すと反  
転が解除され  
ます



## 反転にはスマートとクラシックの2種類あります

スマート:ホーム画面やカメラアプリなど、一部のアプリの色以外を反転する

クラシック:すべての色を反転する



※Siriを利用した場合は自動でスマートが選択されます

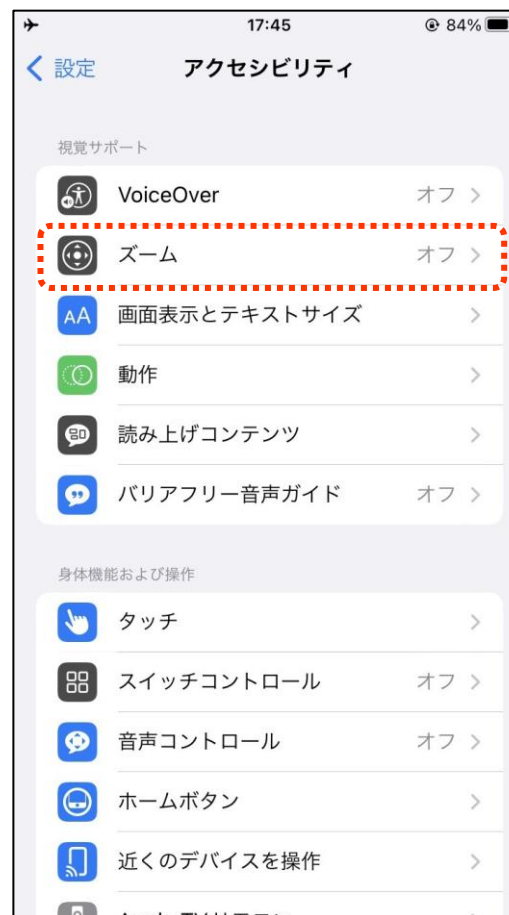


Siriを使用して、画面を拡大する方法です

- ① Siriを起動して「アクセシビリティを開いて」と声をかけます



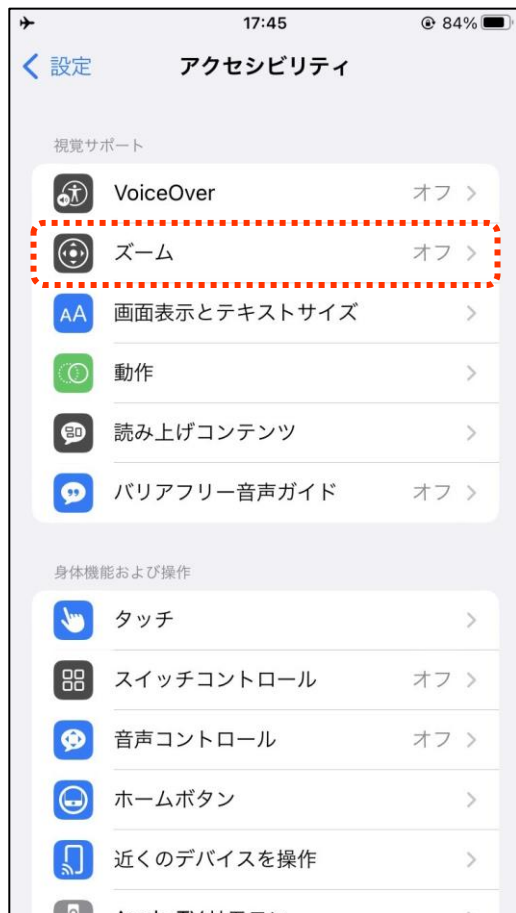
- ② 「ズームオフ」と読み上げるまで右スワイプします



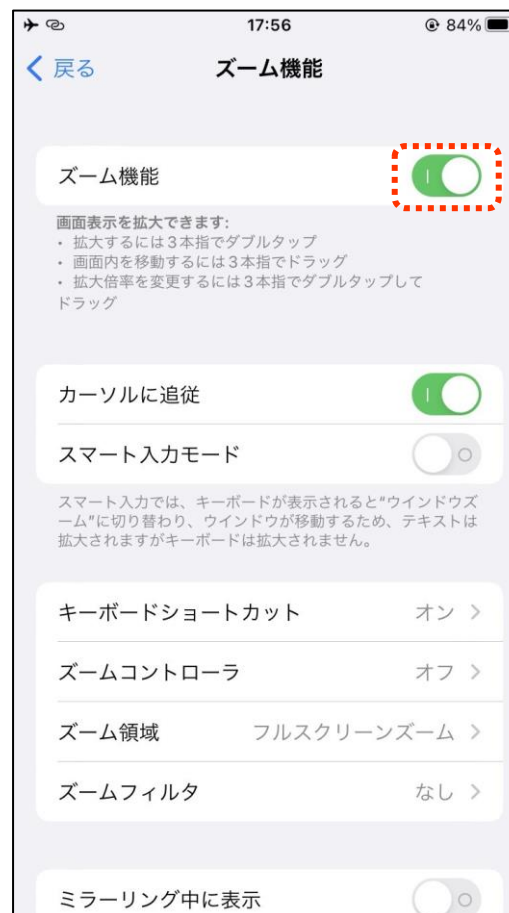
※ここで「ズームオン」と読み上げた場合はすでにズーム機能がオンになっているので、変更の必要ありません

Siriを使用して、画面を拡大する方法です

③ 「ズーム」をダブルタップします



④ 「ズーム機能」をダブルタップし設定をオンにします



ズーム機能オンにした状態の機能です

- ・3本指で画面をダブルタップ

指定した倍率に画面が拡大されます。

できるだけ自分が拡大したい場所をタップすると、その周辺を拡大することが出来ます。

- ・3本指でダブルタップ後に画面から指を離さずに上下にスライド

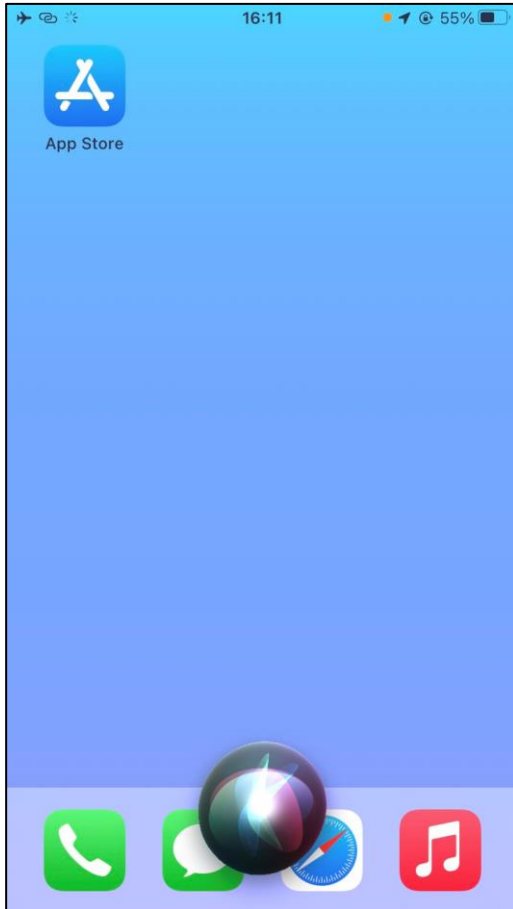
上にスライドすると拡大、下にスライドすると縮小し、好きなサイズに変更できます。

- ・再度3本指でダブルタップ

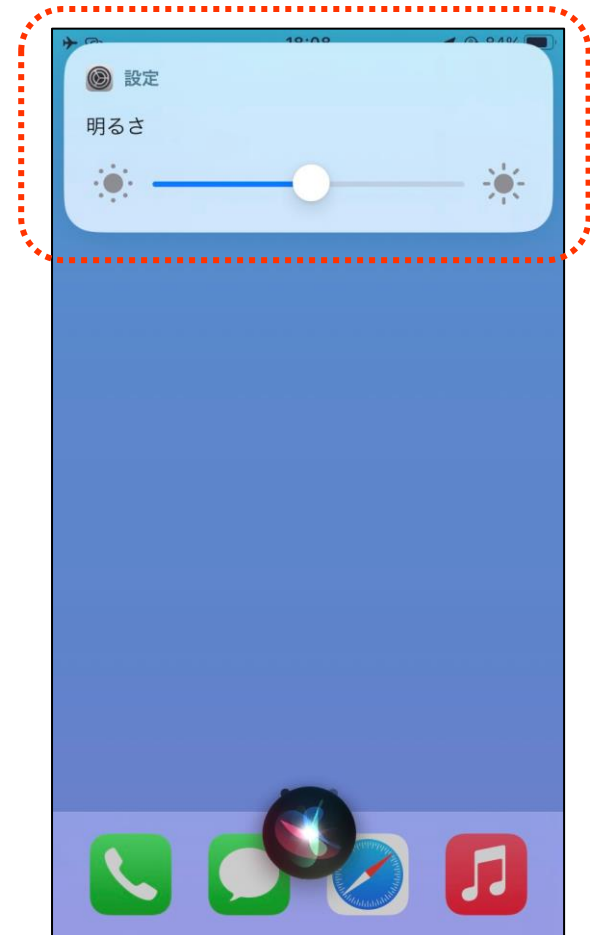
拡大を解除します。

Siriを使用して、画面の明るさを調整する方法です

- 1 Siriを起動して「画面を明るく/  
暗くして」と声をかけます

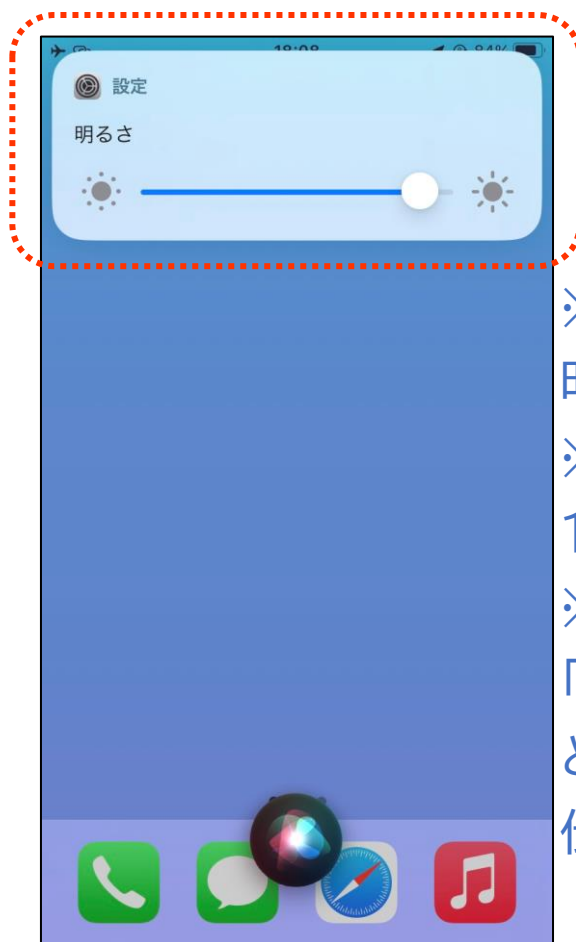


- 2 画面上部に明るさ調整スライダが表示されます



Siriを使用して、画面の明るさを調整する方法です

- ③ 画面が明るすぎる場合や暗すぎる場合は上や下に  
スワイプして段階的に明るさを調整してください



※左スワイプで  
明るさ調整スライダに移動します  
※調整後はホームボタンを  
1回押してSiriを終了します  
※その他にも、Siriを起動して  
「画面の明るさを50%にして」な  
ど最大の明るさに対する割合を  
伝えて調整することも可能です